

**製品名: CDK4 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe01809**

研究使用のみ

**概要**

|        |  |
|--------|--|
| 説明     | 組換えウサギモノクローナル抗体  |
| 宿主     | うさぎ  |
| 応用     | WB, ICC/IF   |
| 反応性    | 人間   |
| 標識     | 非共役  |
| 修飾     | 未修正  |
| アイソタイプ | IgG  |
| クローン性  | モノクローナル  |
| 形態     | 液体   |
| 濃度     | 0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。                                   |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。                     |
| 輸送     | 氷袋   |
| バッファー  | 50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質 |
| 精製     | アフィニティー精製  |

**応用**

|      |  |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:1000, ICC/IF 1:50-1:200         |
| 分子量  | Calculated MW: 34 kDa; Observed MW: 34 kDa |

**抗原情報**

|              |                 |
|--------------|-----------------|
| 遺伝子名         | CDK4            |
| 別名           | CMM3; PSK-J3    |
| 遺伝子 ID       | 1019            |
| SwissProt ID | P11802          |
| 免疫原          | ヒト Cdk4 の合成ペプチド |

**背景**

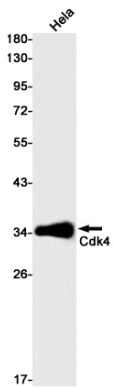
サイクリン依存性キナーゼ（CDK4）の活性は、Tループリン酸化（CDK4の場合はThr172）、サイクリンパートナーの存在量、そし

て Cip/Kip または INK ファミリータンパク質の CDK 阻害剤との結合によって制御されます。サイクリン D-CDK4 複合体は、様々な細胞分裂促進性シグナルおよび細胞分裂抑制性シグナルの主要な集積因子です。

## 研究分野

細胞生物学

## 画像データ



CDK4 抗体を使用した HeLa 溶解物中の Cdk4 のウエスタン ブロット分析。